

ヒメコマツの希少な群落を有する天然林

こすげやま
小菅山ヒメコマツ希少個体群保護林

設定目的

長野県北部にある小菅山こすげやま（一、〇四六^{メートル}）の岩石地帯において、通常単木的に自生するヒメコマツがまとまって自生している希少な群落が見られ、この個体群の保護・管理をしています。

地況・林況

当保護林は、小菅山の西側斜面の標高八四〇〜一、〇四六^{メートル}に位置しており、林齢約三百年のヒメコマツやブナを主体とする天然林等で構成されています。周囲のブナと比べてヒメコマツの樹高は高く、遠望によって確認することができます。

シリーズ

中部の保護林(第39回)

所在地
長野県 飯山市



国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年（大正4年）以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイアルイン：026-236-2612



※詳細は、コードを読み込んでください。